

JBCF 3Days 熊野実施要項についてのご説明

JBCF 登録各チーム代表者の皆様

本大会、要項決定に至るまでに主催者や関係各団体との協議が長引き要項の決定、募集の開始まで時間を要してしまいましたことをお詫び申し上げます。

昨年の大会において、赤木川コースについては各クラスタのスタート間隔が15秒、熊野山岳コースは1分と短く、E1、E2、E3、Fが混走状態となり『大集団』でのレースになっておりました。この状況に関しては、審判団からは非常に危険な状態であるので、何らかの是正が必要であるという指摘が有りました。その為事務局は主催者と共に規制時間を延ばせないか？タイムアウト時間を延ばせないか？という協議を関係各所と進めて参りましたが、実現することができませんでした。

選手の安全とレース運営の円滑さを考えると、同じ時間帯に違うクラスタのレースを実施するのであれば、3分～5分は間隔を開けるべきと考えておりましたが、交通規制の関係から「最先頭通過から〇〇分でタイムアウト」が条件となっているので、実際最終組でスタートするクラスタはほとんどの選手がタイムアウトの対象になってしまいます。

なお、太地コースについてはUCI, JBCF, 一般が同じ時間帯にレースを実施しないので、安全面、運営面ともに上記大会とは異なる為E3の実施は問題無いという結論に至りました。

ご存知のように、公道を使用するレースは様々な制約がある中で開催されております。来年度は、より良い条件での開催を目指します。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

一般社団法人 全日本実業団自転車競技連盟
理事長 斧 隆夫